

日 時：2026 年〔令和 8 年〕7 月 19 日

参 加 者：岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

行 程：スタワマス・チーフ駐車場 → 第一峰 (First Peak) → 第二峰 (Second Peak)  
→ 第三峰 (Third Peak) → スタワマス・チーフ駐車場

行動時間：休憩を含み 7 時間 9 分

バンクーバーとウィスラーのほぼ中間、スコーミッシュ (Squamish) の南側に位置するスタワマス・チーフ (Stawamus Chief) は、世界最大級の花崗岩の一枚岩として知られる名峰である。

当初は 7 月 17 日に、ウィスラーからバンクーバーへ移動する途中に登る予定だった。しかし、この日はあいにくの雨となり、天候が回復したのは 19 日だったため、登山はこの日に変更した。結果的には、連日のハイキングで疲れがたまっていたこともあり、ちょうど良い休養日となった。

バンクーバーのアパートメントを出発し、約 1 時間で登山口に到着した。入口にはキャンプ場があり、多くのテントが張られ、巨大な岩壁に挑むクライマーの姿も見られた。

登山口からしばらくは平坦な道を進むが、やがて事前に聞いていた長い木製の階段が現れ、ここから本格的な登りが始まる。登山道は、石で整備された階段と急斜面に設けられた木製の階段が交互に続き、全体的によく整備されており歩きやすい。唯一、第三峰からの谷沿いを下る下山道は荒れており、慎重に歩く必要があった。



Google マップより



登山口の掲示板より「今回のルート」



スコーミッシュの街からスタワマス・チーフを望む



登山口からの平坦な道 [8:19]



長い木製の階段 [8:32]



[8:37]



[8:43]



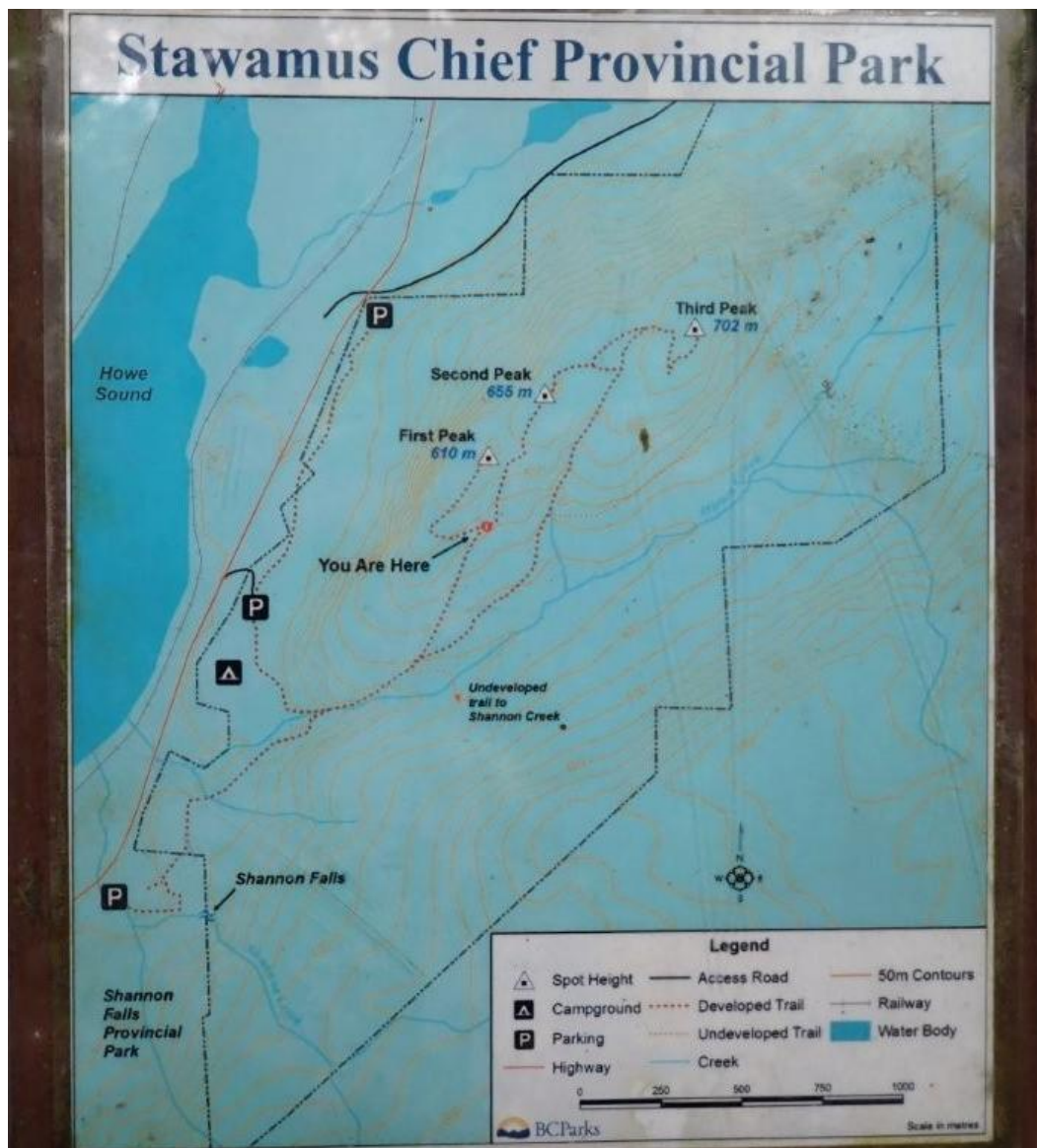
[8:50]



〔9:15〕



〔9:38〕



途中の主要な分岐ごとに案内板が設置されており、現在地や進行方向を確認しながら迷うことなく歩くことができた。ここで一休み。〔9:42〕



[10:08]

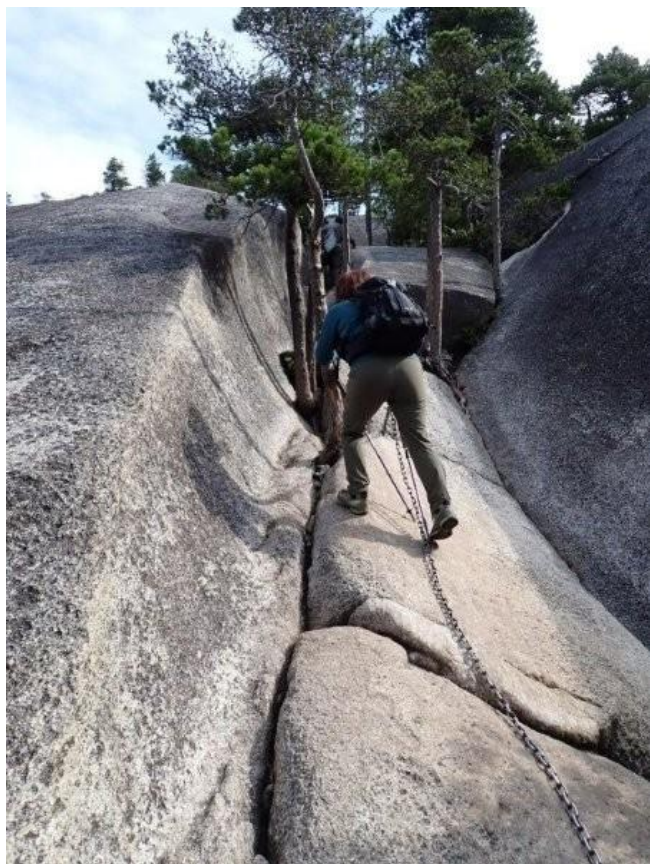


[10:11]



[10:13]

山頂に近づくとだんだん木々が少なくなり、視界が開け絶景が周りに広がった。



〔10:15〕



〔10:17〕



〔10:18〕



〔10:19〕

私は 5.10 のアプローチシューズを履いていたためフリクションがよく効き、脇のスラブを鎖や梯子を使わずに登ることができた。そのおかげで岩場の側面に回り込み、通常とは違った角度から写真を撮影することができた。



スタワマス・チーフ第一峰山頂手前のビューポイントにて



この先が第一峰の山頂だ。山頂まではあとわずか。もうひと頑張りである



スタワマス・チーフ第一峰山頂より



シマリス (Least chipmunk)



アオリス (Red squirrel)

駐車場を出発して約 2 時間 10 分、第一峰の山頂に到着した。

雲はやや多かったものの暑すぎず寒すぎず、登山には絶好のコンディションだった。広々としたスラブの上では、多くのハイカーが思い思いに腰を下ろし、眼前に広がる絶景を眺めながらくつろいでいた。

私たちも隅の方で休憩していると、人間の食べこぼしを探して数匹のリスがちょこまかと走り回り始めた。その愛らしい姿は、雄大な景色とともに山頂でのひとときをより印象深いものにした。



**第一峰から第二峰の岩峰を望む**

第一峰から第二峰へは、一度コルまで下ってから登り返すため、思いのほか登り応えがあった。

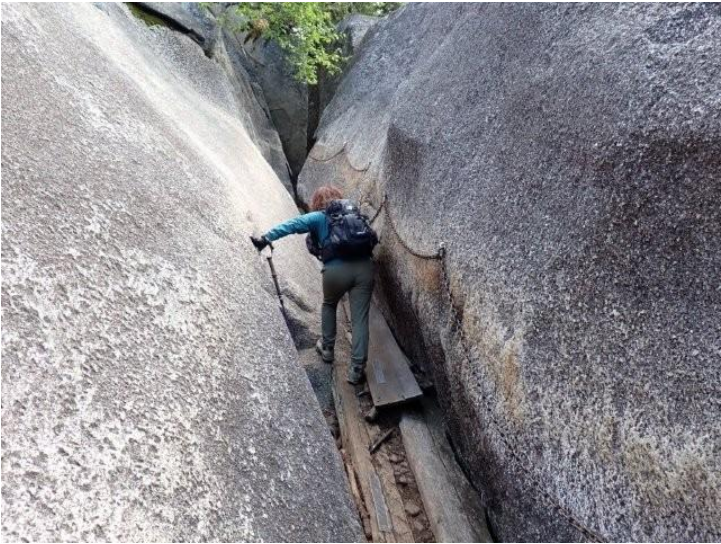
コルから先は岩場が続き、要所には鎖や梯子が設置されていて、変化に富んだ岩場歩きを楽しむことができた。しかし、家内はこの頃から疲れが出始め、そのような岩場を楽しむ余裕はあまりなかったようである。



**コルへの急登の登り**



**コルからの始めの鎖場**

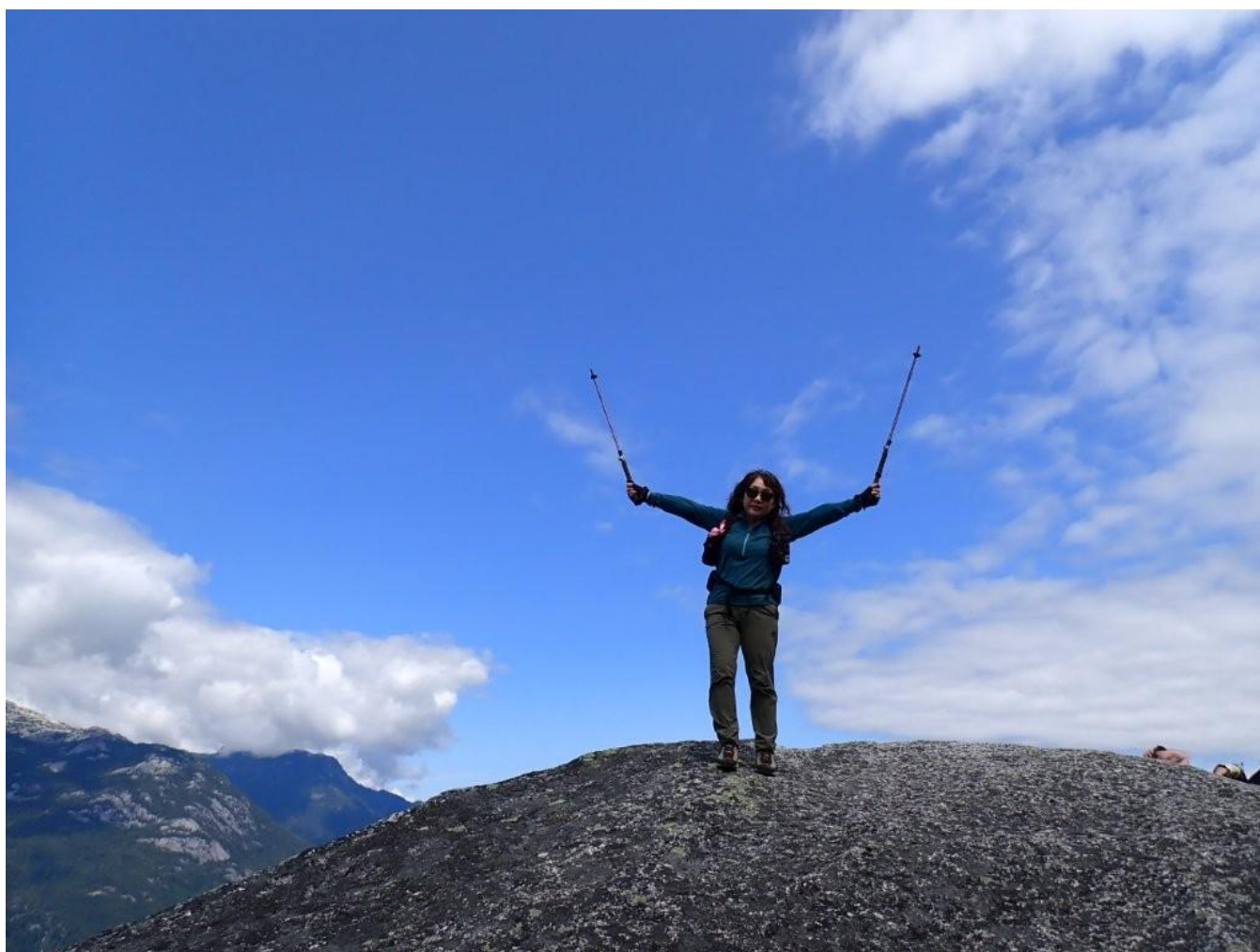




後方が第一峰



この先が第二峰の山頂



第二峰に到着

登山口の案内板には、第一峰・第二峰ともに標高 655m と記載されていたが、実際に登ってみると、明らかに第二峰のほうが高く感じられた。後でパンフレットを確認すると、第一峰は 610m、第二峰は 655m と記載されており、案内板の表示が誤っていたようである。

第二峰の山頂は第一峰ほど広くはないものの、スコーミッシュの街をより間近に見下ろすことができ、その眺望は第一峰にも勝る素晴らしさだった。



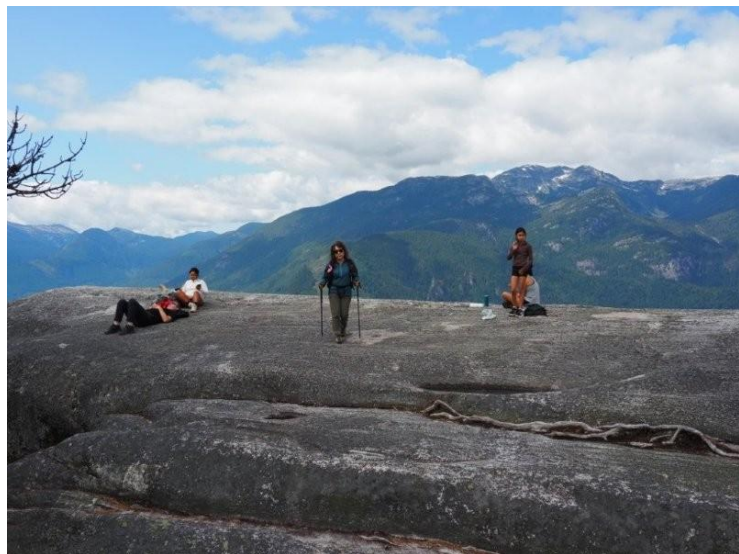
第二峰より左側に第一峰を望む



第二峰より第一峰のスラブの上で多くのハイカーがくつろいでいる様子〔望遠〕



第二峰よりスコームッシュの街を望む



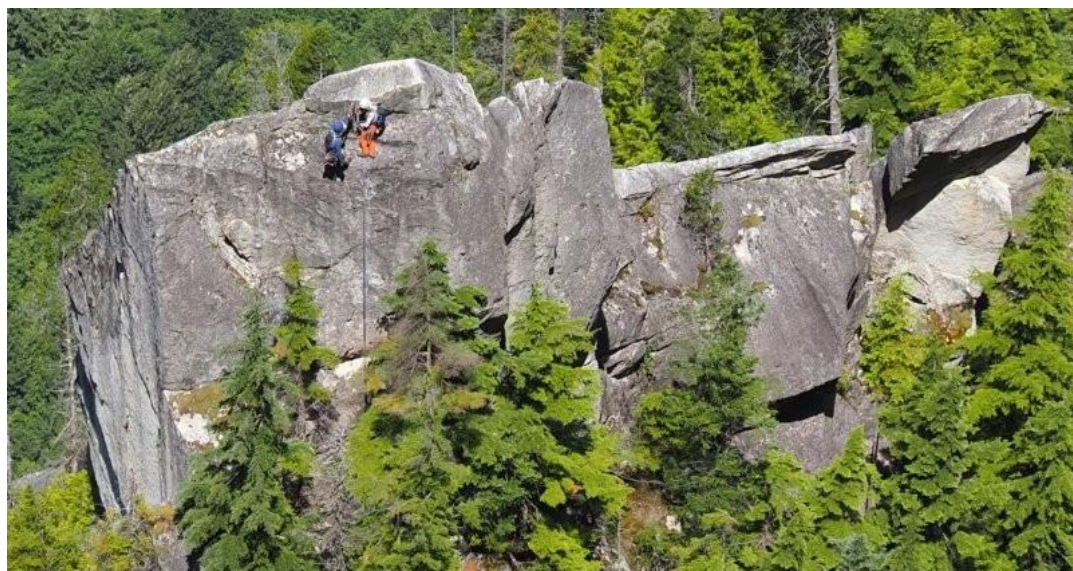
第二峰の山頂



第二峰の山頂にて〔後方 第三峰〕



第二峰と第三峰の間付近の断崖の端から撮影したスクーミッシュの街 高度感は抜群で、足がすくむような眺めだった



第二峰と第三峰の間点付近下部の岩峰に取りついていたクライマーが懸垂下降の準備をしているようであった〔望遠〕



**第二峰と第三峰への登山道**

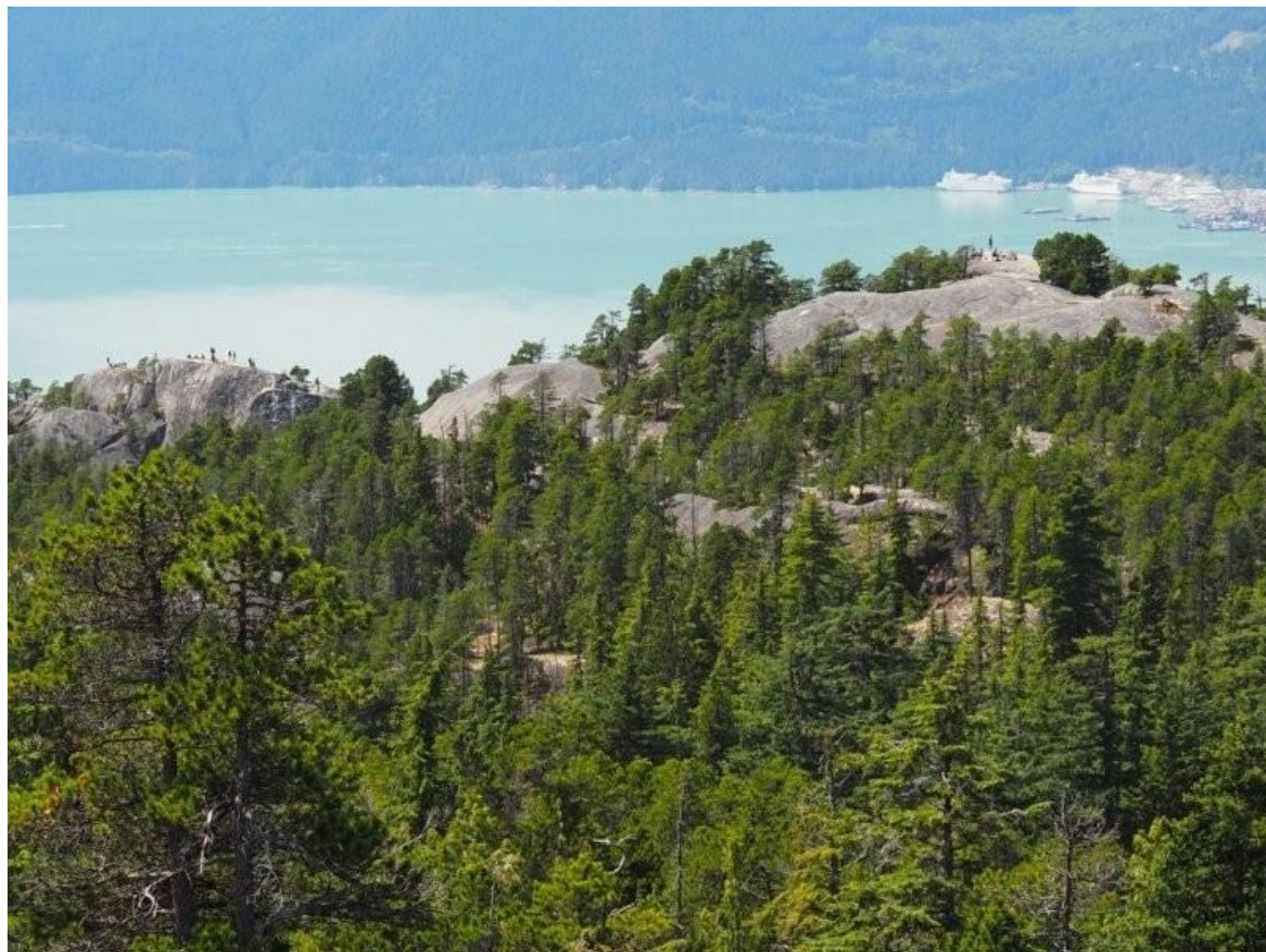


**途中要所要所の目印**

第二峰から第三峰への登山道は、第二峰までの整備された道とは異なり、次第に山道らしい雰囲気となった。しかし、途中の要所要所には目印が設置されており、進む方向を確認しながら、安心して歩くことができた。

第一峰と第二峰の間には大きな高低差があったが、第二峰から第三峰までは大きなアップダウンもなく、思っていたより早く第三峰に到着した。

第三峰の山頂はブッシュが多く、眺望は限られていたものの、眼下には第一峰、第二峰の岩峰が一望でき、ここまで歩いてきた達成感を十分に味わうことができた。



**第三峰より望む第一峰・第二峰。**

左が第一峰の山頂、右が第二峰の山頂で、両峰にはそれぞれ登山者の姿を確認することができる



**第三峰よりブラックタスク (Black Tusk) が望めた**

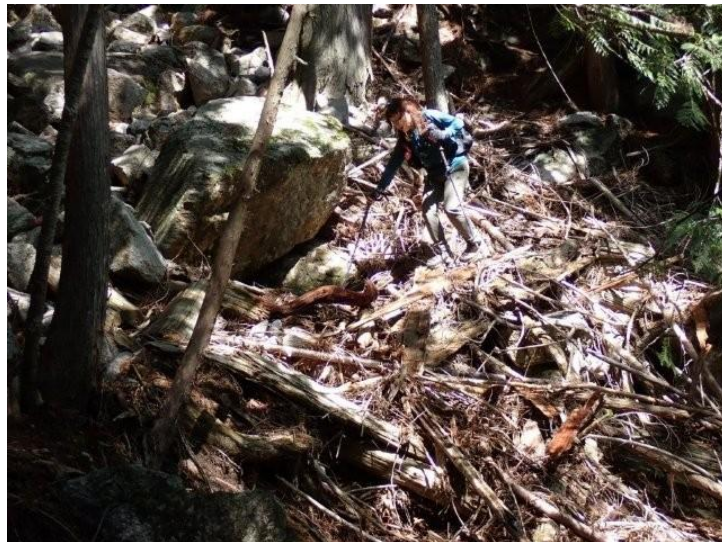
東側の山並みの合間には、ウィスラー山のスカイブリッジから眺めたブラックタスク (Black Tusk) の特徴的な姿も確認でき、旅の前半に訪れた景色が思い起こされた。



**第三峰山頂にて**



**第三峰からの下山開始**



かなり荒れた谷沿いのコース

第三峰からの下山は谷を下るコースで、道に迷う心配はないものの、上部はかなり荒れていて足場も悪く歩きにくかった。

下山を始めてしばらくすると、疲労がたまってきたためか、家内の体調が思わしくなくなり、歩くペースが極端に遅くなってしまった。



登りとの合流点に到着



和名 シャクソウ フリンジド パインサップ (Fringed Pinesap)

普通なら写真を撮る際にはポーズをとる家内も、このころにはその余裕もなく、ただひたすら登山口を目指して懸命に歩き続けてくれた。

結局、第一峰までは2時間10分で登頂し、山頂で十分に休憩を取った後、第二峰、第三峰まで縦走して下山。行動時間は休憩を含め7時間9分に及んだ。

日本ではなかなか味わうことのできない雄大な岩峰歩きは、今回の山旅の疲れも重なり決して楽なものではなかった。しかし、それを上回るほどの素晴らしい景色との出会いは、この山旅の締めくくりにあふさわしい忘れがたい思い出となった。

こうして、今回のカナダ山旅最後の山行も、無事に終わることができた。スタワマス・チーフでの岩峰歩きは、第一峰から第三峰まで歩き通した達成感と、そこから眺めた雄大な景色は、旅の最後を飾るにあふさわしいものとなった。最後まで支え合いながら歩いてくれたメンバーに、心から感謝したい。